

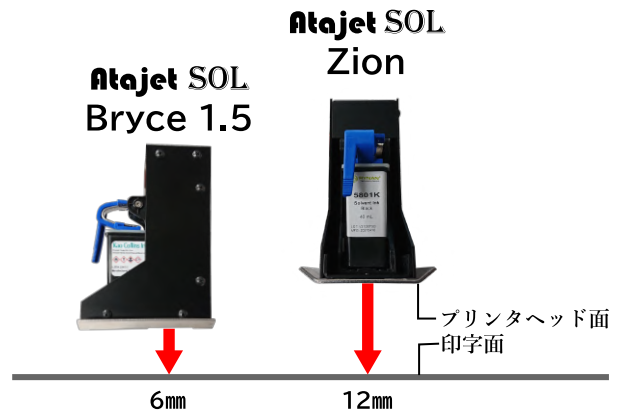
TIJ vs. CIJ

Atajet SOLのTIJ方式はCIJ方式とどこが違うのでしょうか。
その違いは何か、メリットは何かをご紹介します。

12mmの印字ストローク

これまでのTIJ方式では、ヘッドと印字面の距離が弱点でした。印字がキレイでも、印刷物との距離が2mmという至近距離でなければならなかったからです。

Atajet SOLで使用するZion カートリッジは、最大12mmも距離が取れます。



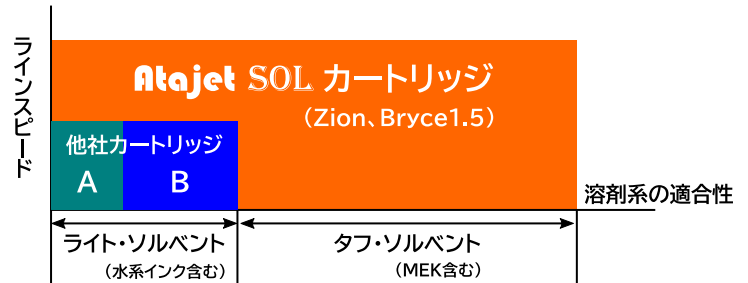
曲面や凹凸面への印字

12mmまで伸びた印刷ストロークにより、缶の底のような凹凸のある表面や曲面、タマゴのような球体にも印字が可能になりました。

多機能な溶剤系インク

Atajet SOLで使用するインクは揮発性が高く、定着性や速乾性に優れた高機能溶剤系インクです。

他社プリンターの溶剤系インクであるライト・溶剤系よりも速乾性に優れているため、ラインスピードも上げることができ、仕事の効率化につながります。



CONFIDENCE
NO CONFIDENCE

シャープで読みやすい

CIJ方式で印字された文字とは明らかに違います。ドットマトリックス文字では“G”または“Q”や“O”などは誤って読み取る可能性があります。一方TIJ方式は読みやすさが圧倒的です。高密度でシャープな印字が特長で、バーコードにも適しています。

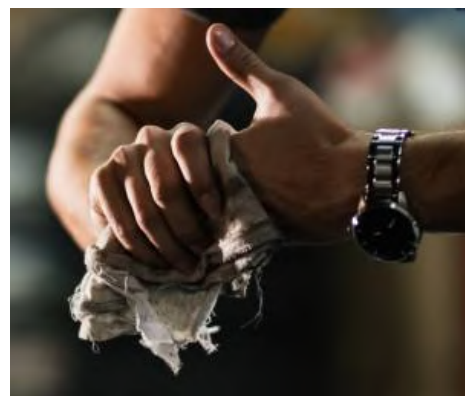


絶対的な価格差

初期投資は購入際の設備投資とインク代のみ、優れたコストパフォーマンス
CIJ方式は、導入費用が高くインクとは別に溶剤を使用
メンテナンス性が悪くシステムも複雑でサポートサービス会社に依頼する
このコストがランニングコストに直結します
年間のコストを考えてみましょう

メンテナンスフリー

Atajet SOLはカートリッジ方式なので、メンテナンスはありません。
またカートリッジのデキャップタイムが長く作業性が高い
ノズルが詰まった場合も、カートリッジ交換で再稼働につながります。
CIJ方式とは、まったく違ったアプローチでメンテナンスフリーを実現。



瞬時に運転開始

CIJ方式は、スタートアップとシャットダウンに時間掛かります。
Atajet SOLは、インクカートリッジをセットし電源を入れれば、
最小の時間で稼働ができます。
小ロットなどの段取り替えなどには非常に有効な手段です。

健康管理と環境対策

環境性能の優れたTIJ方式は、今後の印刷の仕組みを大きく変えることが可能です。
TIJ方式では、揮発性有機化合物(voc)の排出量が、CIJ方式との比較で最大で
90%削減されます。
またCIJ方式で行うふき取り、ページなど一般的な洗浄に溶剤は必要ありません。
社員の健康と対環境施策をAtajet SOLがお手伝いします。

